Panasonic

工事説明書　天井埋込形換気扇

浴室用/トイレ用/洗面所用

品番	ルーバー、吸込グリル同梱 / 2室用 FY-24CPSS8　FY-24CPKSS8

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

分解禁止	**仕様変更・改造は絶対にしない** 火災・感電・けがの原因になります。
禁止	**内釜式風呂を設置した浴室に取り付けない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
アース線接続	**D種接地工事をおこなう** 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
❗	**交流100ボルトで使用する** 火災・感電の原因になります。
	メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける 漏電した場合、火災の原因になります。

⚠ 注意

禁止	**炎があたるおそれのある場所には取り付けない** 着火して火災となるおそれがあります。
	浴室内に電源スイッチを設けない 湿気により、感電することがあります。
❗	**本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する** 落下により、けがをするおそれがあります。
	配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工事士が確実におこなう 誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。
	部品は確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

❗	**本体は指定の方法で確実に取り付ける** 落下により、けがをするおそれがあります。
	取り付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因になります。

お願い

■**傾斜のある天井面には取り付けないでください。**
シャッター開閉不良や結露水逆流の原因になります。

■**高温になる場所（周囲温度40 ℃以上）には取り付けないでください。**
製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■**点検口を設けてください。**
保守点検ができない場合があります。

■**台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所には取り付けないでください。**
部品の破損の原因になります。

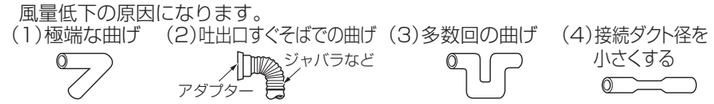
■**浴室など湿気の多い場所では水滴が製品から落下することがあります。**
取り付けは不快にならない場所をお選びください。

■**給気口を設けてください。**
効果的な換気ができません。

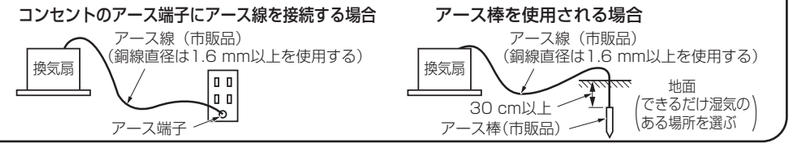
■**浴室と他の部屋に取り付ける場合は、換気扇本体を浴室に取り付けてください。**
本体からの結露水落下の原因になります。

■**温泉や殺菌用塩素を使用する公衆浴場などには取り付けないでください。**
故障の原因になります。

■**次のような配管工事はしないでください。**
風量低下の原因になります。

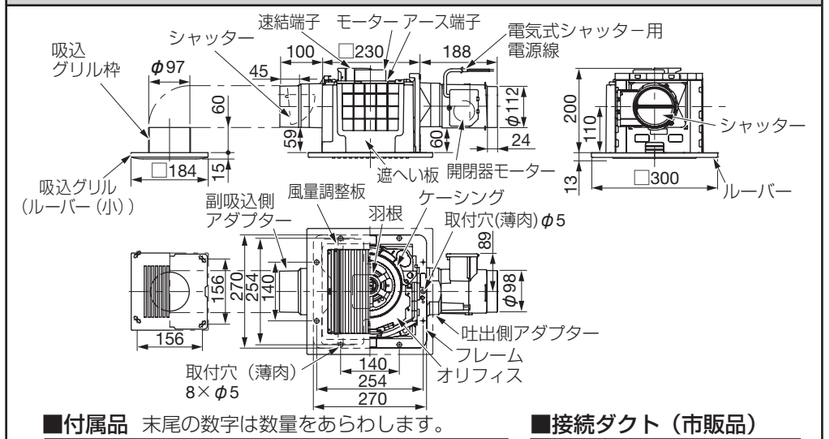


■**アース工事をする場合は次のいずれかの方法でおこなってください。**
他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。



各部の名前と寸法

単位：mm



■**付属品**　末尾の数字は数量をあらわします。

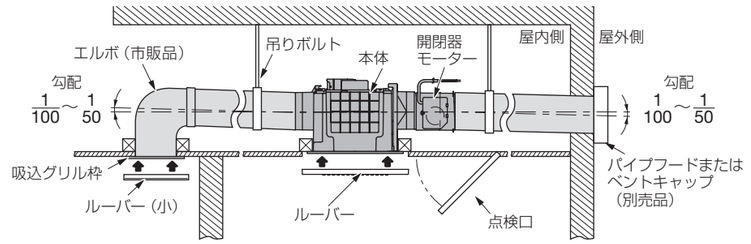
タッピンねじ……6 （アダプター、フレーム固定用）	吸込グリル ……1
タッピンねじ……4 （吸込グリル取り付け用）	ルーバー ……1
パッキン ……1 （吸込グリル取り付け用）	取扱説明書 ……1 （必ずお客様にお渡しください）

お願い　この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

■**接続ダクト（市販品）**

呼び径	種　類
φ100（4番）	塩化ビニル管（VU・VP）
	アルミフレキダクト
	ステンレス鋼管

取付参考図



■ダクトは本体に力がかからないように、天井より吊り下げてください。
■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
■必ずシャッター開閉器のメンテナンスが可能な位置に点検口を設けてください。

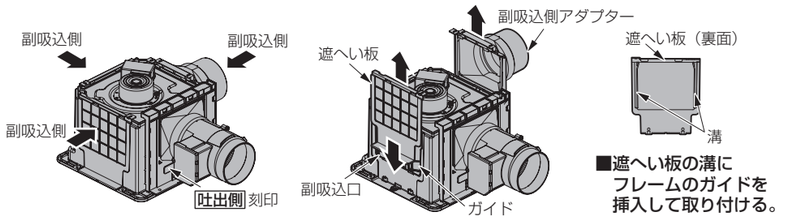
施工方法　以下の手順に従って施工してください。

取り付けかた

■屋内配線用差込形電線コネクター（市販品：3極　JIS C2813適合品、推奨品：ワゴジャパン（株）WGT-3）2個を使用してください。

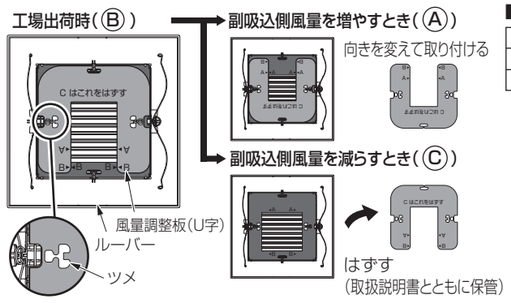
取り付け前の準備

①部屋の位置により吐出方向（吐出側刻印）に対して副吸込方向を（1か所）決め、不要な副吸込口に遮へい板を付け換える。
（副吸込側アダプターははずしておく）



■**遮へい板の溝にフレームのガイドを挿入して取り付ける。**

②風量を調整する場合は、風量調整板（U字）の取り付け位置をルーバーからはずし、位置を変えてツメに差し込む。工場出荷時は Ⓑ にセットしてあります。



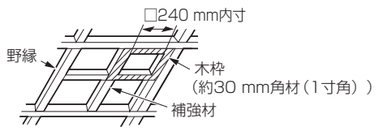
■**風量比の目安**

	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ
本体側	68	75	82
副吸込側	32	25	18

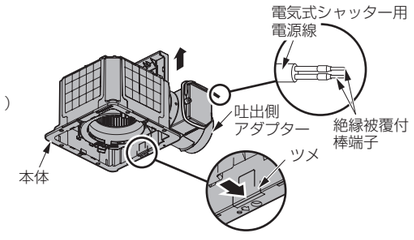
1-a　本体の取り付けと電源の接続（野縁を使用する場合）

※野縁施工で強度が保てない場合には、「吊りボルトを使用する場合」を参考に吊りボルトを併用して取り付けてください。

①木枠を作り、野縁に取り付ける。
■木枠には補強材を設けるなど十分に強度を持たせてください。



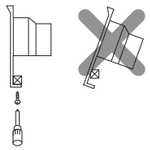
②ツメを矢印方向に押しながら、吐出側アダプターを本体からはずす。

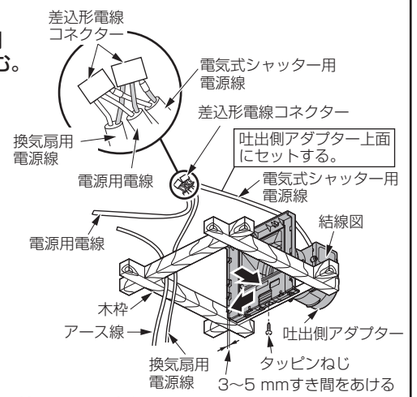


③**電源用電線**（市販品：VVFケーブルφ1.6 mmまたはφ2.0 mm）**、換気扇用電源線**（市販品：VVFケーブルφ1.6 mmまたはφ2.0 mm、約300 mm）**と電気式シャッター用電源線を屋内配線用差込形電線コネクター（市販品：3極）で接続する。**

④**アダプターを木枠に合わせて付属のタッピンねじ（1個）で取り付け、換気扇用電源線およびアース線を木枠内に引き込む。**

■電気式シャッター用電源線は右図のようにアダプター上面にセットする。
■傾かないように取り付けてください。

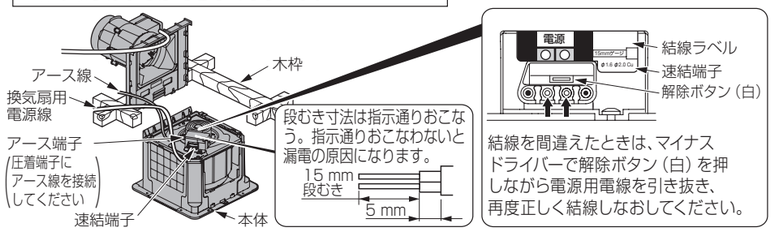




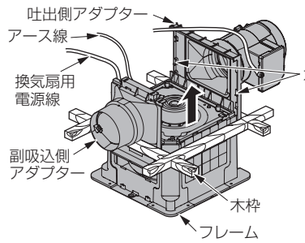
⑤**速結端子に電源用電線の心線がとまるまで差し込む。**（結線ラベルを参照してください）**アース線をアース端子に接続する。**

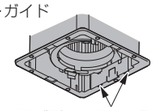
■電源用電線を少し引っ張り確実に接続されていることを確認してください。

アース線と電源用電線は、400 mm以上たるませる。本枠の取りはずしができなくなります。

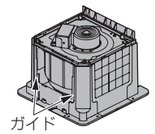


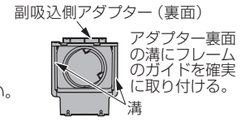
⑥**副吸込側アダプター（1個）を木枠に収め、フレームを吐出側アダプターのガイドに確実に引っ掛け、フレームのガイドを副吸込側アダプターの溝に引っ掛け密着させながら木枠に挿入する。**



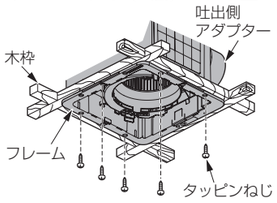


アダプターのツメ部がフレームの角穴に入っていることを確認してください。





⑦**フレームを付属のタッピンねじ（4個）で取り付け、副吸込側アダプター（1個）を付属のタッピンねじ（1個）でねじ止めする。**



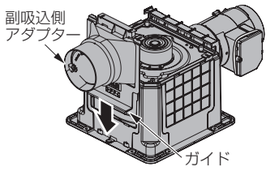
■フレームの取り付けはすき間のないように、確実に取り付けてください。風漏れ、および蒸気漏れの原因になります。

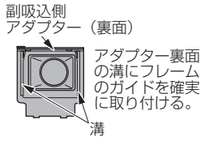
（取り付け穴はすき間防止のため薄肉がついていますので取り付けの際、ねじ先端で薄肉部を突き破ってください。）

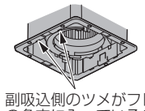
➡ 2 へ

吊りボルトを使用する場合

①**フレームのガイドに副吸込側アダプターの溝を挿入して取り付ける。**

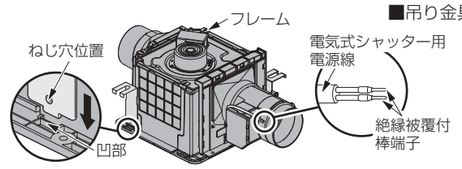






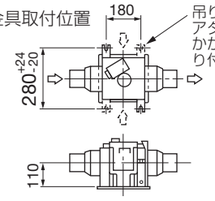
副吸込側のツメがフレームの角穴に入っていることを確認してください。

②**吊り金具FY-KB061（別売品）をねじ（2個 吊り金具付属）で取り付ける。**



（吊り金具をフレームの凹部に差し込み、ねじ穴位置に目印をつけてフレームと木枠に穴（φ4.5程度）をあけ、内側から吊り金具に付属のねじで固定してください）

■吊り金具取付位置

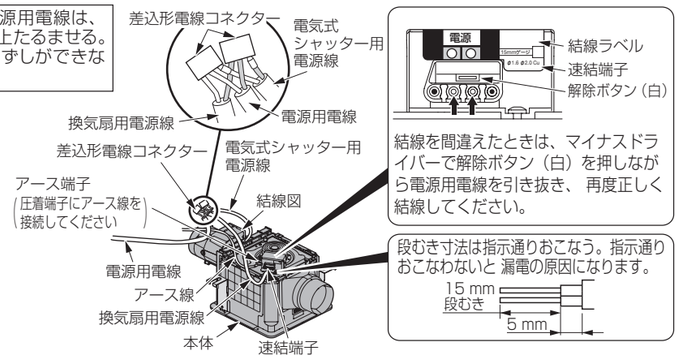


③**電源用電線**（市販品：VVFケーブルφ1.6 mmまたはφ2.0 mm）**換気扇用電源線**（市販品：VVFケーブルφ1.6または2.0、約300 mm）**と電気式シャッター用電源線を屋内配線用差込形電線コネクター（市販品：3極）で接続する。**

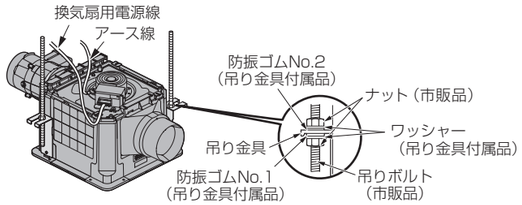
④**速結端子に電源用電線の心線がとまるまで差し込む。**（結線ラベルを参照してください）**アース線をアース端子に接続する。**

■電源用電線を少し引っ張り確実に接続されていることを確認してください。

アース線と電源用電線は、400 mm以上たるませる。本体の取りはずしができなくなります。



⑤**吊り金具を吊りボルト（M8～M10）に取り付ける。**



1-b 本体の取り付け（ユニットバス利用の場合）

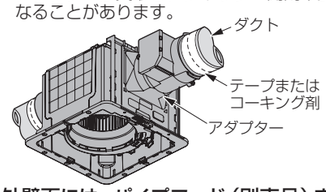
ユニットバス付属の説明書に従って取り付けてください。
（電源の接続は「本体の取り付けと電源の接続（野縁を使用する場合）」を参考にしてください）

➡ 2 へ

2 ダクトの接続と天井材の貼り付け

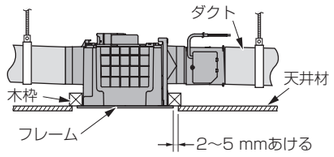
①**ダクトを各アダプターに差し込み、テープまたはコーキング剤で確実に密封する。**

■風漏れや水漏れの原因になります。
■アダプターに力がかからないようにダクトを接続してください。
アダプターが変形し、シャッター開閉不良になることがあります。



②**天井材をフレームと2～5 mmのすき間を設けて貼り付ける。**

■すき間がないと製品のメンテナンスができません。
■ユニットバス利用の場合には、すき間は必要ありません。

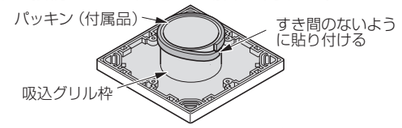


③**外壁面には、パイプフード（別売品）またはベントキャップ（別売品）を取り付ける。**

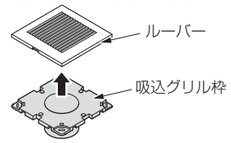
■パイプフードまたはベントキャップの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。

3 吸込グリルの取り付け

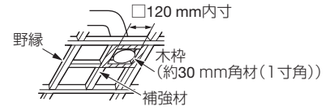
①**吸込グリル枠と接続ダクトのすき間をなくすため、下図を参考に、付属のパッキンを吸込グリル枠に貼り付ける。**
（吸込グリル枠とダクトを接続テープで固定する場合は不要です）



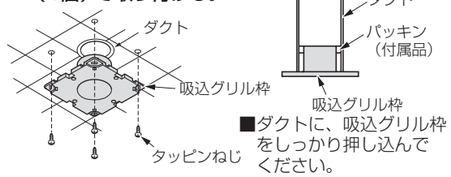
②**ルーバーを吸込グリル枠から取りはずす。**



③**パイプの外周に木枠を作り野縁に取り付ける。**

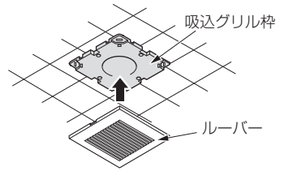


④**天井板を貼り付け吸込グリル枠をパイプに挿入し付属のタッピンねじ（4個）で取り付ける。**



■ダクトに、吸込グリル枠をしっかり押し込んでください。

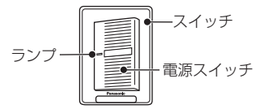
⑤**ルーバーを押し上げて吸込グリル枠に取り付ける。**



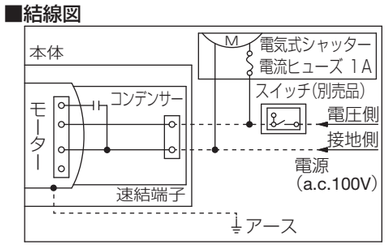
4 スイッチ（別売品）の接続

①**結線図に従って正しく結線する。**
（スイッチへの接続方法は、スイッチに付属の工事説明書をお読みください）

②**換気扇を常時換気で使用する場合は、スイッチに付属の「24時間換気お願いラベル」をスイッチまたはスイッチの近くに貼る。**
（FY-SV06Wの場合）



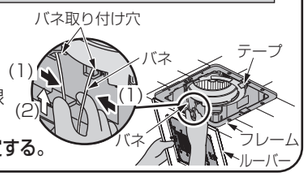
■結線図



●**スイッチを使用する場合、FY-SV06W、FY-SV06WC（別売品）をご使用ください。**

5 試運転とルーバーの取り付け

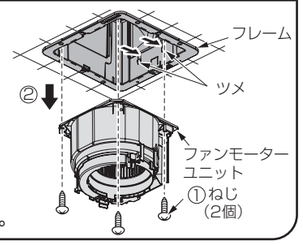
①**結線や取り付けに異常がないか確認する。**
②**オリフィスに貼り付けられているテープをはがす。**
③**スイッチを操作して換気扇の動作を確認する。**
※スイッチで換気扇の風量が切り換わらないときは誤結線の可能性があります。もう一度結線をご確認ください。
④**ルーバーのバネをつまんで、バネ取り付け穴に差し込んで固定する。**



天井材貼り付け後に結線する場合

(1) 本体がはずせる場合
本体をはずして結線してください。
(2) 本体がはずせない場合
以下の手順に従ってファンモーターユニットをはずして結線してください。

①**ファンモーターユニット固定用のねじ（3個）を取りはずす。**
②**フレーム内側のツメ（2か所）を押さえ、ファンモーターユニットを下側に引き出す。**
※**組み立ては取りはずしの逆の順序で確実に固定してください。**



パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511
© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2020
24CPSS841A-P0420-1040